

事務事業名	中山間地域振興プロジェクト事業(下栗モデル)			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	22	終了	27
H27担当課等名	ムトスまちづくり推進課		H27係等名	上村自治振興センター		H26係等名	上村自治振興センター					
基本計画上の位置づけ	政策	7	自立・連携した地域づくり			施策	72	自立に向けた住民組織力の向上				
目的	対象(誰・何を)	下栗地区			対象指標	指標名及び単位		26年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	①下栗の人口を増やす ②上村全体の交流人口を増やす				下栗地区農家数		42戸				
	向上させたい上位施策の成果指標	自主的な地域活動5,500、自主的な地域づくりの参加者数200,000人				上村交流人口数(観光客数)		142,000人				
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	①下栗人口 (10/1現在)			95	104	100	100				
	成果指標	②上村交流人口			125,000人	142,000人	140,000人	140,000人				
定性目標												
事業概要	<p>庁内関係部署が連携体制を組み、中山間地域振興計画に基づく下栗プロジェクト事業を実施する。人口減少が進み、地域の担い手が高齢化する中山間地域の象徴的な課題が顕在化している上村地区の活性化を目的に、人の暮らしと厳しい自然環境がかたちづく、全国的にも貴重な景観と文化を有している「下栗地区」を重点対象地域とした中山間地域振興のモデルとなる取り組みを行う。</p> <p>下栗の景観と暮らしの文化を保全し、その価値を市民の財産として後世に伝え、そこに暮らす人々の生活を守るために下栗自治会が平成22年度に策定した「下栗の修景計画」の具体的な実施について支援する。地域景観全体の保全については、地域全体の取組みとするためにも市景観協定条例への指定、或いは飯田市文化的景観(市指定文化財)指定への取組みも視野に進めていく。担い手の高齢化が進んでいることから、県内外から「下栗応援団」(ボランティアスタッフ)を募り、事業を計画的に推進する。事業実施に併行して、課題が顕在化している鳥獣被害対策、農産物のブランド化、里山整備、観光受入体制の整備、エコツーリズムの推進等を新たにセットし、総合的に支援しながら、下栗のブランド力を高める。</p>											
事業内容					名称			活動指標				
26年度事業内容	1 下栗地域の農業振興、農村景観保全対策 農業課の中山間地域振興プロジェクト事業を活用して実施する下栗修景事業への支援 (1)下栗応援団による遊休農地活性化対策支援 (2)急傾斜畑の保全対策の実施 (3)下栗芋に代表される下栗産農産物のブランド化支援				1 (1)応援団数、遊休農地活用面積 (2)急傾斜畑対策の総延長 (3)下栗芋研修会の実施回数			1 (1)14グループ、24a (2)900m (3)2回				
	2 観光振興対策 (1)急増する観光客への対策業務 (2)下栗ガイド付きツアーの実施				2 (1)観光客受入れ業務実施期間 (2)下栗案内人の会利用件数			2 (1)5月～11月 (2)198件				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		0	0	0	0	財源は農業課、観光課で計上						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源												
人件費計(千円)②		2,861		2,861								
正規職員所要時間		800		800								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		2,861	0	2,861	0							
事業内容・目標達成状況の振り返り	遊休農地対策として地域外のボランティアを募り、畑作を実践している。H24は新規で5組の参加があり、現在14組、30名余の組織となった。地元の行事にも積極的に参加している。観光面では、観光客の増加に比例し、下栗ガイドツアーの利用数も増えている。また、急激な観光客の増加に対して、地区内の交通事情が悪化している為、交通誘導員、駐車場管理人の配備を行い対応した。											
改革改善の考え方	①問題点	遊休農地化が進み、地域の景観維持対策が急務である。観光客も急増しているが、施設、駐車場、対応する地元人員の許容範囲を超えている。下栗での観光問合せも多いことから現地案内窓口の設置も必要。旅行会社主導で地域が受身に回っている。										
	②改革提案	・ボランティア組織の自立化。地域全体の景観保全に対する取組み。下栗の来訪ルールを定め、来訪者へ周知、協力を求める。										